



すぎ たに いく お
杉 谷 育 生

しん わ かい
津 和 会

幼稚園の通園区域について

問 現在の芸濃地域の通園区域では、園児数が多く保育室が不足している園と、園児数が少なく混合クラスで運営する園があり、アンバランスな状況にある。

原因を解消するため、通園区域の範囲を広げる等の対策はとられているのか。



答 芸濃地域においては、これまで、お住まいの小学校区内に限っていた入園可能区域を平成26年度入園の募集からは、校区を問わず地域内であれば入園できることになる。

また、3歳児の定員に余裕のある幼稚園では、毎年12月に二次募集を実施し、芸濃地域以外にお住まいの方まで対象を広げ、定員数までの園児の受け入れを行っている。

また、これまで、旧津地域から入園された3歳児が4歳児に進級するとき、住所地の地域にある幼稚園に移っていただくのが原則であったが、3年間続けて在園していただけるよう規定を変更した。

今後も地域の実情が変わっていくことが予想されることから、毎年見直しを図っていきたい。

●その他の質疑・質問●

○報告第23号～報告第29号 専決処分の報告について

・労務単価の見直しについて
・議案に上がっていない契約件数について

○公共道路用地の境界線について

○漁業系廃棄物の再利用について



▲きめ細かな保育を行う安西・雲林院幼稚園



いわ わき けい いち
岩 脇 圭 一

いっ しん かい
一 津 会

公共施設マネジメント計画の策定を

問 総務省の調べでは全国で1万2,000棟以上の公共施設の解体が検討されており、その費用は4,000億円とされている。本市における公共施設白書の作成の進捗状況と今後の活用は。

また、長期的な視野に立った施設の維持修繕、施設の持つ機能の複合化、再配置などについて方針をまとめた公共施設マネジメント計画を策定すべきと考えるかどうか。

答 公共施設マネジメントについては、現在、公共施設全体を把握する目的でデータベース化を進めている。これにより施設分類ごとの床面積の内訳、年度別整備延べ床面積、耐震化状況、将来の更新費用の推計値を把握し、今後の大規模改修や建て替え等の適正な維持管理に係る公共施設マネジメントについて検討するための基礎資料としたいと考えている。

公共施設の多くは、建築後相当年数が経過し、更新コストが恒常的に大きな負担になると見込まれるため、公共施設の計画的な更新・維持管理については、全体的な目標や分野別の方針を立てる必要性を十分認識しており、今後、全庁的にしっかりと取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

○新しい情報ツールを活用した行政事務の効率化について

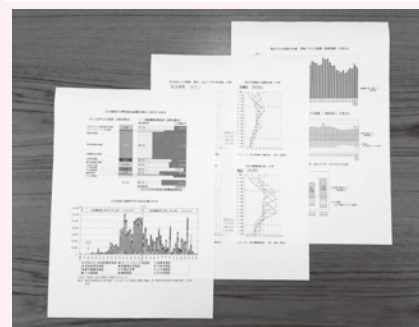
○新しい公共交通の仕組みについて

・高松山デマンドタクシーの運用状況について

・バスの利用促進について

○今後のスポーツ施設の整備について

・市民プール跡地の利用の方向性は など



▲データをわかりやすくグラフ化した公共施設白書